

9月27日（金）

サンクトペテルブルグ市議会表敬訪問

9月27日、市会代表団は、サンクトペテルブルグ市議会議事堂であり、19世紀半ばにニコライ一世が娘マリアのために建てた巨大な宮殿であるマリインスキー宮殿を訪問した。

まずサンクトペテルブルグ市議会の歴史にかかる品々が展示された記念室において職員による説明を受けた後、ヴァチェスラーフ・マカロフ市議会議長を表敬訪問した。



マリインスキー宮殿（サンクトペテルブルグ市議会）

【マカロフ議長 挨拶要旨】

サンクトペテルブルグ市議会の議員を代表して、また私自身としても心から歓迎する。私は去年の8月にポルタフチェンコ前知事と日本を訪れ、北海道を表敬訪問させていただいた。外交関係だけでなく友情関係として、日本に対し親しみを感じている。こうした訪問により、将来の友好関係が深まり、より良くなることにつながることを期待している。



サンクトペテルブルグ市議会記念室

以前サンクトペテルブルグ市知事を務めていたワレンチナ・マトヴィエンコ連邦議会上院議長より、大阪市会のみなさんによるしくとの伝言を承っているので伝えさせて



挨拶をされるマカロフ議長

ていただく。これからは連邦としても地方の開発、地方の交流にも力を入れていく必要があるとのことであった。

貴代表団が大阪市から来られ、ともに姉妹都市40周年を祝えることは、大阪市とサンクトペテルブルグ市との間のパートナーシップの発展が双方にとって重要な優先事項であるということの証左であると考えており、非常に満足している。

今年6月末に大阪でG20が開催され、最終日にプーチン大統領は、外交関係だけではなく、日本におけるロシア年、ロシアにおける日本年を迎えるにあたって、それぞれの相互理解を深めていきたいということを述べた。首脳レベルだけではなく、地方のリーダーや組織等に属する人、草の根の活動に参加する人々など多数の方々の、それぞれの人間関係が非常に大事だと思っている。



意見交換の様子

サンクトペテルブルグ市では、伝統的に日本の文化遺産や経済的・科学的・技術的可能性に大きな関心が寄せられている。この度の数々のイベントにより、遠い日本についてさらに学ぶことができる。そのために日本の友人と経験を交換し、私たちの都市が直面している新たな緊急の課題について議論する機会を設けている。

サンクトペテルブルグ市議会の議員と大阪市会の議員は、市民の利益のために、相互に有益なパートナーシップをさらに発展させるためにあらゆる努力をしていきたいと思う。

【広田議長 挨拶要旨】

本日はマカロフ議長、サンクトペテルブルグ市議会議員とお会いできることをたいへん楽しみにしていた。心温まる歓迎に心から感謝申しあげる。

このたび、記念すべき大阪・サンクトペテルブルグ姉妹都市提携40周年に、大阪市会を代表してサンクトペテルブルグ市議会を訪問できたことを大変光栄に存ずる。また、こうして姉妹都市提携40周年を、ここサンクトペテルブルグの地でともにお祝いすることができ、さらに、マカロフ議長、議員諸氏と交流を深める機会を得たことはこの上ない喜びである。

サンクトペテルブルグ市と大阪市は、1979年に姉妹都市提携を行って以来、経済、文化、学術などあらゆる分野での交流を深めており、本年めでたく40周年という記念すべき年を迎えることができた。両市の40年間にわたる交流の歴史は、学术交流や技術交流、スポーツなど多くの分野において活発に展開され、両市民の絆を深めながら友好親善をはかってきた。このような貴重な交流の歴史と成果を誇りに思うとともに、さらなる発展に努めていかなければならないと考える。

今回の訪問では、昨日、市役所においてベグロフ知事を表敬訪問させていただいたほか、ネフスキー大通りや文化集客施設としてのエルミタージュ美術館の視察を行い、関係者の方々と活発な意見交換をすることができた。加えて本日夕刻には姉妹都市提

携40周年記念レセプションなどに参加させていただく予定としている。

何より、本日市議会を訪問し、議長、議員とお目にかかることを大変楽しみにしていたので、時間の許す限り意見交換し、交流を深め、多くのものを吸収して帰りたいと思っている。

姉妹都市提携40周年のこの訪問を機に、これまで培われた両市の友情の絆は、今後より深く充実したものになると期待している。

【意見交換におけるマカロフ議長発言概要】

- マトヴィエンコ元知事がかつて日本を訪れた際、非常に日本での滞在が印象的であったと言っていた。彼女のおかげで日本との関係があると云ってもよく、貿易を行う会社が増えている。現在サントペテルブルクには50社くらい、日本と関係のある会社がある。
- ロシアでは経済制裁を受けていることにより、結果的に様々な開発が行われている。経済制裁自体はEUからのものであることから、日本としては投資をするチャンスと言える。貿易関係は様々な面で守られおり、国だけでなく、まちのレベルでも保護を受けている。
- サントペテルブルグ市議会には68の政党がある。なぜそんなに多くの政党があるのかということ、政党を登録するには500人いればよいことになったため多数の政党が登録されている。
- 12月25日にはサントペテルブルグ市議会25周年の記念行事が行われるので、その機会に是非お越しいただきたい。また、議会同士で合意書を締結できれば非常に意義あるものではないかと思っている。

意見交換終了後、市議会事務局職員によりマリインスキー宮殿の内部や議場などをご案内いただいた。サントペテルブルグ市議会議場は白色の大理石で囲まれており、荘厳な雰囲気を感じさせるものであった。



マカロフ議長と代表団



サントペテルブルグ市議会議場

水・環境ビジネスセミナーネットワーキングレセプション

サントペテルブルグ上下水道公社（ボドカナル社）情報・教育センターにおいて、「水・環境ビジネスセミナー」にかかるネットワーキングレセプションに参加した。

同日は、環境に配慮した優れた技術を持つ大阪の企業等とともに、午前中は第1部として「上下水道分野の技術紹介」を、午後からは第2部として「大阪プロモーション・環境分野の技術紹介」を大阪市の主催により行ったが、このネットワーキングレセプションはセミナー参加者の情報交換、技術交流の促進の場として設けられたものである。

松井市長の挨拶の後、セミナー参加者と大阪市関係者等との間で活発な交流が和やかに進められた。最後に代表団を代表し広田議長が挨拶を述べ、午後からの第2部に向けて会は終了した。



レセプションの様子

【松井市長 挨拶要旨】

本日は、大阪市とサントペテルブルグ市の友好都市提携40周年を記念し、サントペテルブルグ市及びボドカナル社の力添えをいただき、大阪の上下水道や廃棄物処理にかかる取組みをアピールするこのような場を設けていただき感謝する。本日、お力添えいただいている総領事館、日本センター、ジェトロの皆様にもお礼申し上げます。

今回、大阪市会代表団や企業・団体とともに訪問させていただいたことは、大いなる喜びである。皆様方におかれては、大阪の上下水道の取組みについてご理解いただけたものと確信する。午後からは廃棄物処理等にかかる説明を行うので、是非引き続きご参加いただきたい。本セミナーの開催を通じ、今後も両市の技術や経済の交流を進めていきたいので、ぜひご理解、ご支援をお願いしたい。

2025年には、国際博覧会が大阪のベイエリア「夢洲」で「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとして開催される。是非皆様にお越しいただきたい。

本日のご出席に改めて感謝申し上げます、私からの挨拶とする。

【広田議長 挨拶要旨】

このたび大阪・サントペテルブルグ姉妹都市提携40周年という節目の年ということで、大阪市代表団とともに大阪市会代表団として訪問させていただいた。



挨拶をする広田議長

関係者の皆様におかれては、大阪の上下水道や廃棄物処理に係る取り組みをアピールするこのような場を設けていただいたことに深く感謝する。

本日のセミナーを通じて上下水道技術や廃棄物処理につき一層の交流を深め、この歓談の時間においては、短い時間ではあったがとても有意義に交流を深めることができたものと感じている。

本日の意見交換とセミナーを通じて生まれ、あるいは深まった交流をきっかけとして、大阪市と Санктペテルブルグ市がそれぞれの得意分野を生かした提携を行うなど、一層良好な関係を築いていければと願っている。

2025年に大阪で開催される万国博覧会の開催の折には、ぜひ大阪にお越しいただき、活力あふれるその姿を目の当たりにしていただきたい。

改めてセミナー並びにレセプションの開催に力添えをいただいた Санктペテルブルグ市及びボドカナル社、協力いただいている総領事館、日本センター、独立行政法人日本貿易振興機構・ジェトロの皆様重ねてお礼を申し上げます。

大阪・ Санктペテルブルグ両市の発展と繁栄を、そしてご臨席の皆様のご健勝とご多幸を祈念して、私の挨拶とさせていただきます。

Санктペテルブルグ市主催姉妹都市提携 40 周年記念レセプション



挨拶されるベグロフ知事

アンバサダーホテルにおいて、 Санктペテルブルグ市主催の大阪・ Санктペテルブルグ姉妹都市提携40周年記念レセプションが行われた。

アレクサンドル・ベグロフ知事から両市の友好関係の発展についてご挨拶があったのち、松井市長、広田議長、飯島在 Санктペテルブルク日本国総領事から挨拶があった。また、午前中に表敬訪問を行った Санктペテルブルグ市議会からはトゥゴフ対外関係副委員長が出席し、挨拶を行った。

レセプションでは、 Санктペテルブルグ市、市議会関係者をはじめとして、観光、道路、教育など姉妹都市交流に関わる関係者との意見交換を行い、交流を深めた。

【松井市長 挨拶要旨】

本日は、ベグロフ知事はじめサントペテルブルグ市役所の主催で、このように盛大にレセプションを開催していただき、心から感謝する。また、本日もご出席の皆様には、日頃から両市の姉妹都市交流にご理解、ご協力を賜り、この場をお借りして感謝申し上げます。皆様に温かくお迎えいただき、生涯忘れえぬ思い出となった。

今回は、優れた技術を有する大阪の企業である日立造船株式会社、芦森工業株式会社、川崎重工株式会社、積水パイプリニューアル、大阪ガス株式会社に加え、大阪商工会議所、大阪水・環境ソリューション機構も同行し官民連携して訪問させていただきました。

今回ご一緒した皆様とともに上下水道や廃棄物処理、道路交通について、セミナーの開催や専門的な意見交換を行うことができた。今後の具体的な交流につながるものと確信している。

また、実際にネフスキー大通りを歩いて、長い歴史や景観を大切にしながら、まちの活性化をめざす取り組みを自ら体感することができた。エルミタージュ美術館では、素晴らしい収蔵品や建物に感動した。本市も世界中から多くの方にお越しいただける、都市魅力あふれるまちづくりに取り組んでおり、大変参考になった。

第83番学校では、歌やダンスの披露など生徒の皆さんから歓迎いただき、とてもうれしく思った。来月末に大阪にお迎えできることを楽しみにしている。両市の未来を担う若者の交流は大変貴重なものと考えている。

明日には、日本へ帰国する。私どもを温かく迎えてくださった全ての方々にお礼申し上げます、私からの挨拶とする。

【広田議長 挨拶要旨】

大阪市会を代表して、ご挨拶申し上げます。このように盛大なレセプションを開催していただき、心からお礼申し上げます。

代表団は、25日にサントペテルブルグ市に到着し、サントペテルブルグ市庁舎や市議会のほか、ネフスキー大通り、エルミタージュ美術館などを訪問したが、各訪問先では非常に温かくお迎えいただいた。サントペテルブルグの人々の温かい人柄を体感することができ、関係者の方々とも活発な意見交換を行うことができた。

この姉妹都市提携40周年を機に、これまで培われた両市の友情の絆が今後より深く充実したものになると期待する。



挨拶する広田議長

大阪においては、2025年万国博覧会の開催が決定した。開催の折には、ぜひ大阪にお越しいただき、活力あふれるその姿を目の当たりにしていただきたいと存ずる。



レセプションの様子

おわりに

今回、友好都市提携30周年を記念してハンブルク市を、姉妹都市提携40周年を記念してサントペテルブルグ市を訪問し、数々の親善訪問や諸施策の行政調査を行ったが、訪問先のそれぞれで温かくお迎えいただき、多数の方々と交流できたことは非常に有意義であった。

両都市の議会を訪問した際には、本市会と訪問先の議会との友好関係を深められたのはもちろんのこと、対面で話し合うことにより密な意見交換を行い、それぞれの議会や議員のあり方等について改めて考えさせられた。また、経済交流や文化交流に際しても、行政と民間企業、あるいは交流を支えていただいている方々が有機的に連携を行っていくことが必要であることを再認識した。

親善訪問や意見交換等を通じ、両都市との間で行政・民間を問わず多くの方々の尽力により培われてきた友好関係に基づいて、より深みのある経済交流や文化交流が行われていることを確認するとともに、今後の両都市と本市との関係の中で、さらなる友好を深めるための役割をいささかなりとも果たせたものと思う。

最後に、代表団の両都市訪問に際し、事前の準備及び現地での案内、随行等でお世話になったハンブルク市、サントペテルブルグ市、並びに本市の関係者の皆様に心からお礼申しあげる。